

最終合格に  
こだわる!!

# 東京アカデミーの充実サポート!

サポート  
1

## 愛媛県対策 完全LIVE講義

東京アカデミーでは、アクティブ・ラーニングにより、受講生が主体的に学ぶ講座を実施!全ての講義を全国全自治体共通の講義ではなく、**各自治体の試験傾向に特化した講義を完全LIVE(生)**で実施!その為、各ブロック各校間ではカリキュラムは異なっております。**松山校では、愛媛県に特化したカリキュラム構成**により、文部科学省から発表される最新の統計資料や愛媛県の教育指針を即座に生講義に取り入れることができます。出題傾向を知り尽くした講師による迫力のある生講義は、独学やDVD講義などでは困難な**最新の試験傾向にも対応可能**です!

サポート  
2

## 新学習指導要領完全対応! 昨年度(2018年夏受験)より 新設!

## アクティブラーニングを 実践する評価シートで 深い学び!

深い学び、教師力向上を的確に把握する為の評価シートを作成。講義内容が着実に身に付いているかどうかを適切に評価するため、講師用及び受講生用の評価シートで講師及び受講生の的確な評価を行い、具体的な改善を繋げて行きます。受講生評価シートは講義後に提出し、コピーを講師と担当が共有し、原本は講義当日に受講生に返却します。  
(評価シート例:右写真参照)



サポート  
3

## 圧倒的受験者数!! 模擬試験

2018年度全国で**32,724**人が受験した「東京アカデミー**全国公開模擬試験**(スタート模試+第1~3回の合計4回、自治体別模試除く)」。本試験の徹底的な分析から作成した予想問題で構成され、詳細な成績表やポイントを絞った解説冊子など**模擬試験受験後の学習にも役立つ**と受験生にも好評です!

また、**自治体別模試**は全67自治体(大阪府豊能地区含む)の模試を実施しています。



(写真は昨年度版です)

## 模擬試験の日程

当パンフレットに掲載の  
通学全コースで無料受験可能

[ただし、全国公開実施日に受験されたものに限ります(自宅受験の場合は全国公開実施日までにマークシートを提出されたものに限ります。)]

**スタート模試** 2018年 9月23日(日)  
2018年 11月18日(日)

(実施日は2回設定していますが、問題は同じです)

**第1回全国公開模擬試験**  
2019年1月13日(日)

**第2回全国公開模擬試験**  
2019年3月 3日(日)

**自治体別模擬試験(全67自治体対応)**  
2019年4月 7日(日)

(※松山校では「愛媛県型模試」を実施します)

**第3回全国公開模擬試験**  
2019年4月29日(月・祝)

(※第3回のみ特別支援、栄養教諭、幼稚園教諭の専門試験を実施します)

サポート  
4

## オリジナル教材・受験 情報誌

◇オリジナル教材

東京アカデミーのオリジナルテキストは各都道府県・政令指定都市の出題傾向を徹底的に分析し、ポイントとなる部分を詳しく解説していますので、合格に向け、無駄なく効率的に学習が進められます。また、愛媛県の教育資料や出題傾向に応じた松山校独自の教材や教育答申資料集、教育用語集なども充実しています。



(写真は昨年度版です)

◇パーフェクトガイド

東京アカデミー全国32校のスケールメリットを生かし、全国の最新試験概要と人物試験の情報をこの2冊に集約!教員採用試験対策はまず情報収集から。みなさんの知りたい情報がこの2冊に詰まっています!



(写真は昨年度版です)

◇教育時事データブック

広範な教育時事の中から本試験で出題されやすい事項を精選。最新の教育データやテーマ別の解説など、教職教養対策はもちろん面接や討論対策にも役立つ1冊です。



(写真は昨年度版です)

◇一般時事データブック

最新の時事ネタ・一般常識が詰まった1冊!教員として押さえておきたい時事問題が満載です!サミット、オリンピック、世界遺産、直木賞・芥川賞などは要チェック!



(写真は昨年度版です)

サポート  
5

聞き取り  
調査による  
生の

## 受講生必見!! 受験情報

東京アカデミーでは全国32校どの校舎でも全67自治体(大阪府豊能地区含む)の筆記試験・人物試験の情報を提供できます!全国の試験日程や試験内容に加え、卒業生の聞き取り調査による生の情報や、受験体験報告書も豊富に取り揃えており、全国ネットワークの強みを持つ東京アカデミーなら、**受験生の皆さんの求める試験情報の提供と併願指導が可能**です。



(写真は昨年度版です)

サポート  
6

## 学習環境万全! 自習室

講義開始前、終了後など集中して自主学習できる自習室を常設しています。**平日朝9時~夜8時50分まで(土曜日も夕方6時50分まで。日曜・祝日は夕方4時50分まで)**利用できます。講義の予習や復習、自主学習など納得のいくまで利用してください。周りのライバルたちが一生懸命学習している環境にいれば、自然とやる気が出てきます。このような環境も受講生の実力アップを支えています。  
※年間に模試などで数日使用できない場合があります。

サポート  
7

## 全国32校間で転校可能!

東京アカデミーでは全国32校及び13の外部会場にて60自治体の試験対策を生講義にて実施しています。大学卒業や勤務先変更等の理由で受講期間中に転居される場合、転居先の最寄りの校舎もしくは外部会場にて**継続受講が可能**です。

※転校先の同一規格の講座にご転校が可能です。各校の開講講座については弊社HPにてご確認いただけます。

※所定のお手続きが必要ですので窓口まで申し出ください。尚、転校の手続きには数日を要することがありますのでご了承ください。

※転校先において同一規格の講座がない場合で転校される方は、受講料の追加徴収もしくは差額返金をさせていただきます。同一規格か否かの判断は弊社で行います。



的中!!

講義で勉強したところが、  
試験に出た!!

これはほんの一例!  
他にも多くの問題が  
的中!

2017年度第一回全国公開模試 第19問  
○次の文章の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものを選び。  
マズローは、人間の欲求を低次の生得的欲求から高次の社会的欲求へ階層秩序をなすものとしてとらえ、その基底(第一層)に( A )、最高位(第五層)に( B )を置いた。また、欲求の満たされない状態を( C )といい、複数の欲求が同等の強度で同時に存在することで引き起こされる緊張状態を( D )という。

A	B	C	D
1. 所属・愛情欲求	承認・自尊欲求	フラストレーション	ストレス
2. 生理的欲求	自己実現欲求	フラストレーション	コンフリクト
3. 安全欲求	自己実現欲求	コンフリクト	ストレス
4. 生理的欲求	所属・愛情欲求	カタルシス	フラストレーション
5. 安全欲求	承認・自尊欲求	カタルシス	コンフリクト

的中!

愛媛県本試験 教職専門大問7-1  
○アメリカの心理学者であるマズロー(1908~1970)は、「人間の欲求は、低次から高次へと段階的に満たされてゆく」として五つの階層に理論化した。「マズローの欲求段階説」右図参照  
彼は、「安全の欲求」に強く欲求として「( A )」を、また最も高次の欲求を「( イ )」をあげた

的中!

2017年度第一回全国公開模試 第20問  
○次の文章の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものを選び。  
エリクソンは、生涯発達論の観点から人間の自我の発達を乳児期から老年期まで8つの段階に分け、それぞれに克服すべき心理社会的な危機があるとする( A )論を唱えた。

第I段階	基本的信頼感	対	不信
第II段階	( B )	対	恥と疑念
第III段階	( C )	対	罪悪感
第IV段階	( D )	対	劣等感
第V段階	同一性	対	同一性拡散
第VI段階	親密性	対	孤独
第VII段階	生殖性	対	停滞
第VIII段階	統合性	対	絶望

A	B	C	D
1. アイデンティティ	勤働性	自主性	自律性
2. ライフサイクル	自主性	勤働性	自律性
3. モラトリアム	自主性	自律性	勤働性
4. ライフサイクル	自律性	自主性	勤働性
5. モラトリアム	自律性	勤働性	自主性

的中!

愛媛県本試験 教職専門大問7-2  
○精神分析の理論家であるE.H.エリクソン(1902~1994)は、生涯発達論の観点から、心理・社会的発達に着目して、人が生まれてから死ぬまでの生涯を8つの時期に区分した。同時に、彼はそれぞれの段階における発達課題を明らかにした。例えば、幼児期には、自律性と恥の感情や疑念、幼児後期には、自律性と( ウ )、児童期には、勤働性と劣等感が発達課題になるとした。また、青年期には、( エ )の確立が発達課題となる。これがうまくいかないと、自分がどのような人間かわからなくなるといった状態に陥り、社会的役割をとることを保留している期間が生じる。これを、( オ )という言葉で表した。

2017年度オープンセミナー参考書1 教職教養 I  
【教育原理 教育史】P124  
○次の文の( )に適切な語句を入れよ。  
特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や( ① )に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育ニーズを把握し、生活や学習上の困難を( ② )するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。  
また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない( ③ )も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する( ④ )において実施されるものである。

愛媛県本試験 教職専門大問8  
○特別支援教育の理念  
特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や( ア )に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は( イ )するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。  
また、特別支援教育はこれまでの( ウ )の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。